

Title	大阪大学人間科学部紀要 第13巻 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学人間科学部紀要. 13
Issue Date	1987-03
Text Version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/11094/21354
DOI	
rights	
Note	

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/all/>

執筆 者 紹 介

柏原 恵 龍	人間科学部	助 手	(教育心理学講座)
片岡 栄 美	〃	〃	(教育社会学講座)
菅野 盾 樹	〃	助 教 授	(人間学講座)
中島 義 明	〃	〃	(行動学講座)
柏原 崇	〃	教務職員	(行動学講座)
三隅 二不二	〃	教 授	(社会心理学講座)

Mark. F. Peterson テキサス州立大学助教授

米谷 淳	人間科学部	助 手	(比較行動論講座)
下河内 稔	〃	教 授	(行動生理学講座)
志村 剛	〃	助 手	(行動生理学講座)
吉田 光 雄	〃	助 教 授	(行動工学講座)
山田 恒 夫	〃	助 手	(行動工学講座)
南 徹 弘	〃	助 教 授	(附属比較行動実験施設)

編 集 後 記

紀要論文は丸善の400字横書きの原稿用紙に手書きする、というのがわが学部では不文律になっていた。したがって執筆希望者に対して、例年のように原稿用紙を今年も配布した。ところが提出されたものを見ると、ワープロで打った論文が数本出てきた。苦労して原稿用紙のます目に打ち込んだもの、裏面をつかって、一枚400字を守られたものなど、いろいろ出てきた。かく言う筆者も、ワープロA4用紙に、打ち込んでいる。こうした動向を踏まえて、来年度以降は従来の不文律をどう変えていけばよいか、一気にワープロA4での提出に踏み切るか、従来との折衷で行くべきか、紀要編集委員会で協議中である。それにしても時代の流れが改めて痛感される昨今ではある。

今年度は二人の退官教授をお送りすることになり、それぞれの講座から研究業績などの一覧を出して頂き、本紀要に収めることにした。先に第11巻(1985)に既退官教授11名の業績一覧が一括して掲載されているので、その後を受けての事である。本学部の研究や運営に尽力された三隈・田中両教授に心から謝意を呈する次第である。

編集作業を終えるに際し、これにかかわった諸氏に感謝の意を表する。

紀 要 編 集 委 員

○水 越 敏 行
南 徹 弘 厚 東 洋 輔
梶 原 景 昭 阿 部 彰
(○印委員長)

昭和62年3月20日 印刷

昭和62年3月30日 発行

大阪大学 人間科学部紀要 第13巻

編集・発行 大阪大学人間科学部
〒565 吹田市山田丘1-2
TEL 06 (877) 5111 (大代表)
印 刷 大阪市福島区玉川3丁目6番4号
阪東印刷紙器工業所

BULLETIN

VOL. 13

1987

CONTENTS

- Investigation of Right-Left EEG Asymmetry During
Verbal and Nonverbal Information Processing.
..... Eryu Kashihara (1)
- Social Class Differences in Child Rearing in Japan
..... Emi Kataoka (23)
- IRony..... Sugeno Tateki (53)
- Intuitive Physics
——Cognition of Trajectories of Moving Objects——
.....Yoshiaki Nakajima (79)
- Contrasting Views in the Theory of Perception
——Direct Perception and Indirect Perception——
..... Takashi Kashiwabara (109)
- Developing a Performance-Maintenance (PM)
Theory of Leadership
..... Jyuji Misumi
Mark F. Peterson (135)
- Figural after-Effect, Successive Contrasts and the Warming-up
Effect: Three Phenomena and the Set in Size Comparisons
.....Kiyoshi Maiya (171)
- The Effects of Electrical Stimulation of the Medial Preoptic Area
Upon Neuronal Activities of the Ventral Tegmental Area
..... Tsuyoshi Shimura and Minoru Shimokochi (197)
- Multicollinearity and Ridge Regression in Regression Analysis
..... Mitsuo Yoshida (227)
- Autoshaping and Adaptive Behavior:
Performance Theories in Pavlovian Conditioning
..... Tsuneo Yamada (243)
- Behavioral Development and Sex Differences in Primates
..... Tetuhiro Minami (269)

Published

by

**THE FACULTY OF HUMAN SCIENCES
OSAKA UNIVERSITY**